

保全すべき自然環境要素の分布状況

- ・本調査によって確認された保全すべき自然環境要素のうち、確認位置が特定された主な動植物種の分布状況を示しました。
- ・なお、種の保全の観点から詳細確認地は示さず、額田地域を河川流域によって南北2地域に区分し、それぞれの地域内での分布状況を示しました。

- 北部地域でのみ確認された種
- 南部地域でのみ確認された種
- 南・北両地域で確認された種
- VU

愛知県絶滅危惧Ⅱ類
- NT

愛知県準絶滅危惧



モリアオガエル NT

森に生息するカエルです。水面に張り出した木の枝などにクリーム状の卵塊を産み付けます。



サギソウ VU

日当たりの良い丘陵地の湿地に生育します。白鷺に似た美しい花をつけますが、採取されやすい種です。



ミヤマカタバミ NT

山地の林内に生育するカタバミの一種です。春に直径3〜4cmの白い花をつけます。



マツムシソウ NT

山地や丘陵地の日当たりのよいの草地に生育します。初秋に直径3〜4cmの青紫色の頭花をつけます。



ササユリ

本州中部以西の山地にはえる多年生の草本で、旧額田町の花です。名前の由来は、葉がササに似ていることによります。花が大きく美しいため、園芸目的のために採取されてしまうことがあります。額田地域では、住民や学校などにより、生育地の保護や増殖活動が行われています。



カジカガエル NT

川幅の広い山地河川に生息し、雄はなわばりを持ちます。初夏にフィーヨ・フィーヨと美しい声で鳴きます。



ムササビの巣穴 NT

古い神社やお寺の建物にムササビが巣穴を開け、中に巣をつくり、子供を育てることがあります。



イシガメ

池や沼、川などに生息するカメです。生息地周辺の土の中に卵を産みます。額田地域には比較的多い種です。



カザグルマ VU

湿地周辺に生育する、つる性の半低木です。5〜6月に直径7〜12cmの大きな白い花をつけます。



サシバ(上) VU

夏に丘陵地や山間部の林内に生息・繁殖します。カエル、ヘビ、昆虫類を捕食します。(写真下はノスリ)



カジカ NT

体長15cm程で、溪流の石の下や草の陰などに隠れ水生昆虫などを食べます。(写真は陸封の大卵型)



ゲンジボタル

幼虫は水中でカワニナを捕食して成長し、川岸の土中で蛹となり、初夏に羽化します。夜になると発光しながら川辺を飛びます。額田地域のゲンジボタルは、市指定の天然記念物に指定されています。額田地域では、小学校や地元保存会などによる保護活動が活発に行われています。



ヒメタイコウチ NT

湧水湿地や湧き水のある水路や水田などに生息します。かぎ状の前足で昆虫を捕まえて、体液を吸います。



ユクノキ

深い山にまれに生育する落葉高木で、夏に白い花をつけます。闊刈溪谷が県内の分布の西限になります。



ドンコ NT

小河川の岩や草の陰などに生息し、小魚等の水生動物を食べます。大きいものは体長25cm程になります。



ナガレホトケドジョウ NT

山間部の細流や沢に生息します。ホトケドジョウに比べ体がやや細長く、より流れの速いところを好みます。



ホトケドジョウ NT

丘陵地の沢や水路、湿地状になった休耕田などに生息します。普通のドジョウに比べ、ずんぐりしています。



アカザ NT

河川中流の平瀬や早瀬の石の下などに生息します。背と胸のヒレにトゲがあり、刺されると強く痛みます。

